

子どもの素敵な世界を
のぞいてみよう！！



令和2年度

1月の園だより



第二みみょう保育園

ある日のもも組さんでのこと。
2階のテラスで段ボールや、いろいろな廃材で遊
んでいると…。



厚紙を並べて“道”をつく
っている子どもの姿があり
ました。

「せんせい、ここあるいて
いいよ。」と厚紙同士が途切
れないようにくっつけなが
ら並べ、長い長い道にしたい
様子…。

そして、保育者が歩く方向
に向かって「まだこっちに
もつくるね」と、やりとり
を交わしながら、どんどん
道ができあがっていく面白
さに夢中になっています。



また、段ボールを並べたり、厚紙を敷いて“お
家”をイメージして遊んでいる子どもたちの姿も
…。「ここはげんかんです。」「いっしょにはい
ろ。」「おにぎりもってくるから、まって。」な
ど、友だち同士での会話が弾み、“お家”とい
うイメージの中で楽しさを共有しながら、あそび
が広がっています。

廃材でのあそびは、性質の不思議さや面白さに
気づき、更にイメージを膨らませていきます。も
も組さんの夢中になって遊ぶ姿の中にも、形を変
える面白さに、「次はこうしてみる？」と試行錯
誤し、更なる意欲や探究心へとつながっていきま
した。こうした夢中になる経験の積み重ねこそ
が、目には見えない力（非認知能力）を育ててい
くのです。子どもの素敵な世界を私たちは日々大
切にこれからも保護者の方にお伝えしていきたく
と思います。



「2021（令和3）年を迎えて思うこと」

新年あけましておめでとうございます。本年もど
うぞよろしく申し上げます。

この一年が子どもたちにとって、保護者の皆様方
にとって良い一年になりますこと、そして何より新型
コロナウイルス感染症が早く収束することを心より念
じております。

さて、新たな年が幕を開けましたが、いつものよ
うな高揚感はありません。なぜならば、昨年の大晦日
に、国内で新たに報告された新型コロナウイルスの新
規感染者が4520人となり、記録を大幅に更新した
からです。東京の感染者が1337人に大幅増加した
ことが大きく目立ちますが、大都市を中心に感染
拡大の深刻化が鮮明になり、医療崩壊がすぐそこ
に迫ってきています。

国は、コロナ抑制と経済復調のバランスをとる必
要があるため、難しいかじ取りをしてきましたが、
対応がすべて後手に回っています。新規感染者が
4500人を超えるという状況は、Go To トラベル
の一斉停止の駆け込み旅行やクリスマスやイルミ
ネーションのイベントがかなり影響していると思
われます。さすがに、このお正月の初詣や観光地
では人出が激減しているようですが、自分は感染
しないという自分本位な心の緩みが感染急増を
招いてしまったのではないのでしょうか。

東京では、年末のカウントダウンイベントにた
くさんの若者が集まっていますが、他人事のよう
な振舞いや行動の根底には、きっと「我慢」が
できないことが要因のひとつにあると考えます。
もちろん、仕事のためという方も多くいること
は十分に承知していますが、新規感染者の激増
を顧みずに行動する姿を見ると「我慢」が
できない若者や大人が増えてきているように
思います。

では、人間はなぜ「我慢」できなくなったのか。
昨今、叱らない子育て、ほめて育てるという
子育て法がよいとされる風潮があります。叱
ると自信のない子になってしまうと、自己肯定
感の高い子が多い欧米の親は叱らないとい
った誤解、あるいは嫌われたくないという心
理などから、悪いことをしても叱らない、
何でもほめるという育て方が理想とされてい
るこ

とも要因のひとつに挙げられます。もちろん、
時間に追われ心に余裕がない、自己愛が強い
といったことも大きく関係しています。

本来、子どもは、あるがままを愛され、本
気でほめてもらい、心から認められることを
繰り返すことで、自分の欲求や思いを一
方的に伝えるだけでなく、相手の立場に
立ちつつも、時にはちょっと我慢して折
り合いを見つけたり、感情をコントロール
しながら成長をしていきます。

例えば、プロ選手を目指して辛い練習に
黙々と粘り強く取り組むといった自らの
意思で動く「真の我慢」は自主性や自立
性が育かれますし、コミュニケーション
能力を身につけていくことにもつなが
ります。

一方で、大人から繰り返し強いられる
「受け身我慢」は、逆に自己肯定感が
低くなると考えられています。この前
はよかったのに今日はダメと言われた
ような、子どもの側から見ても理解の
できない大人の都合や、先生に叱ら
れるからダメ！といった人のせい
にすることは間違った「我慢」です。

保育園という小さな社会のなかで、
子どもたちは集団生活を営んでいま
す。そこには様々なルールがありま
す。友だちとの関わりもあります。従
って、自然と自分の気持ちをコント
ロールする環境があります。また、
生活場面では友だちや保育者がお
手本を見せてくれます。そして、時
には叱られる場面もありますが、
保育者は否定する叱り方ではなく、
なぜそのようなことをしたのかの
意味を知り、認める叱り方をする
ようにしています。つまり、自然
と「真の我慢」が育まれる環境
にあります。引き続き、我慢できる
という、自分の気持ちをコント
ロールできる力を育ててまいり
たいと思っています。

昨年は、子どもたちにとっても、
我々大人にとっても、様々な面で
制約があり、我慢を強いられた1
年でした。まさに「受け身の我慢」
でした。今、みんながちょっとした
「真の我慢」をすることで早
くコロナが収束することを念
じてやみません。

引き続き、本年もご理解とご協
力をよろしくお願いいたします。

園長



お話を聞く
心の声も聞く



ママに何か話そうと、一生懸命な子どもの
言葉。さえぎらずにゆっくり聞きましょうね。
さみしい気持ち、悲しい気持ち、怒りや不満
も「そうなの、かなしかったね」「さみしか
ったね」とまずは全部受け入れます。すると、
子どものモヤモヤは消えていきますよ。

大和書房「子育てでいちばん大切なこと」

児童精神科医 佐々木正美 著



成人の日 1月11日

大人になったことを自覚し、自ら生きぬこ
うとする青年を祝い、励ます日で、昭和
23年に制定され、平成12年(2000年)か
ら1月の第二月曜日に定められました。
民法では、“満二十歳ヲ以テ成人トス”
とあり、法律上独立の社会人としての地位
を与えられます。

わが国では古くから成人を祝うしきた
りがあり、男性は元服げんぷく、女性は裳着もぎとい
いました。

まだまだ成人には年月がかかる子ども
たちですが、夢と希望を持って成人でき
るよう、私たち大人が毎日明るく、前
向きな姿を見せていきたいものです。

消さないで
あなたの心の
注意の火



広島市南消防署
警防課 救助係